



公益社団法人 栃木県柔道整復師会

■ 発行／(公社)栃木県柔道整復師会

■ 印刷所／藤崎印刷株式会社

宇都宮市西一の沢町4番7号 TEL 028-648-0502(代)

■ 発行人／田代富夫

■ 編集人／小森照久



HP



強さを支える「受け身」の心

第42回 (公社)栃木県柔道整復師会柔道大会

7月12日、ユウケイ武道館において、第42回栃木県柔道整復師会柔道大会が開催され、小学生個人戦および形競技に146人の選手が参加し、日頃の練習の成果を胸に熱戦を繰り広げた。

「受け身は受けるものではなく、自らとるもの」。柔道の受け身は、投げられた際に身を守るために意識的にとる大切な技である。日々、柔道整復師として外傷と向き合う田代会長が、開会式で選手たちへ贈ったこの言葉は、受け身が持つ本来の意味を伝えているだけでなく、日常生活の中でも自分の身体を守る力として、受け身の精神を大切にしてほしいという思いが込められていた。

福田富一知事は、今秋に愛知県で開催される第20回アジア競技大会柔道競技において、本県出身の太田彪雅選手が男子100kg超級および男女混合団体戦の日本代表に内定したことを紹介し、「世界へ挑戦する先輩の姿を目標に、皆さんの中からも世界で活躍する選手が育ってほしい」と期待を込めた。

激戦を制し、初の全国切符 ～4年生～

決勝は井上叶人（野木町柔道クラブ）と岡田時人（佐野柔道クラブ）の対戦。投げ技を得意とする両者は喧嘩四つで組み合い、激しい体落としの応酬になった。

試合終了まで互いに決め手を欠いたが、積極的に攻め続け、相手の体勢を崩す場面で上回った井上が判定の末、優勢勝ちした。

井上は「普段の稽古から今大会での優勝をイメージしながら臨んだ。初の全国大会出場が決まって素直にうれしい。練習相手や対戦相手、先生や保護者への感謝を忘れずに5年生、6年生になっても全国大会に出場できるように稽古に励みたい」と力強く語った。

涙を超えた絆、同門ライバル対決 ～5年生～

決勝戦は、前回（4年生時）優勝者を破り勢いに乗る中山寛仁（帝京豊郷台柔道館）と、前回準優勝の大森陽生（同）による同門対決となった。

互いの手の内を知り尽くした一戦は拮抗した展開となったが、一瞬の隙を見逃さず、鋭い払い腰で技ありを奪った中山が優勢勝ちを収めた。



日整全国柔道大会代表選手

9・10月合併号 CONTENTS

Vol.400 とちのき

第42回 (公社) 栃木県柔道整復師会柔道大会	1
とちのき400号発行	3
その画像、どう読むのか	3
第95回学術講演会・第36回支部代表者研究論文発表会	4
保険部だより	6
江原副会長が日整帰一賞受賞	6

My Box	7
もののふコラム	8
匠の技伝承プロジェクト	8
支部だより	9
行事予定／お知らせ／川柳／編集後記他	10

同門対決を制し優勝を果たしたものの、素直に喜べない中山のもとへ、大森は悔し涙を浮かべながら歩み寄り、相手の肩にそっと手を置き「おめでとう」と称えた。その姿は、ともに切磋琢磨してきた二人の絆の深さを物語る、勝敗を超えた印象的な場面となった。

中山は「相手の体勢を崩して自分の有利な距離を保つことを意識して練習してきた」と振り返った。両者とも、この一戦で得た経験を糧に、全国大会でのさらなる活躍を期待したい。

大会初！女子で三連覇！～6年生～

決勝戦は、大会初となる三連覇を目指す山田^{まお}茉桜（未来塾）と、スピードと投げ技で勝ち上がった鹿沼^{しょうりゅう}将龍（帝京豊郷台柔道館）による、前年と同じ顔合わせとなった。

両者一步も譲らぬ激しい攻防の末、終始積極的な攻めの姿勢が光った山田が判定勝ちを収め、4年生時から3年連続での優勝を果たし、小学生が個人戦へ移行した第33回大会以降では初となる三連覇の快挙を達成した。

山田はこれまで組み手から技を掛けるタイミングを重点的に練習。「チームのみんなのおかげで三連覇できた。中学生でも全国を目指したい」と目標を語った。

藤崎敏満監督は「三連覇のプレッシャーもある中、必死に練習していた。全国大会では一つでも多く勝たせてあげたい」と山田選手への期待を語った。

形競技会

各学年の決勝戦で熱戦が繰り広げられたあと、静寂に包まれた会場で5チームによる形競技会が行われた。会場中の視線を一身に集める緊張感のなか、各選手は日頃の練習の成果を堂々と披露した。競技の結果、5年生ながら（取）山口^{るか}琉花・（受）川島^{はな}羽菜組（未来塾）が見事、県代表の座を勝ち取った。

柔道では、「形は文法、乱取りは作文」と例えられる。形を学ぶことで技の理合や原理原則を理解し、それを乱取りで生かすことで「使える技」へとつながっていく。

講評では、審査員の先生方からその大切さが伝えられるとともに、さらなる上達につながる温かい助言が送られ、その一言一句に真剣に耳を傾ける選手たちの姿が印象的だった。



日整全国大会形競技代表チーム

礼法優良賞

本大会の趣旨である「少年・少女の健全育成」のもと、選手だけでなく指導者を含めた礼法や姿勢を総合的に評価し、授与される賞である。

- 4年 保木^{ほきだい}大智（足利造士館石井道場）
- 5年 木村^{たける}虎瑠（野木町柔道クラブ）
- 6年 西口^{こりん}湖凜（昭徳館植木道場）

選手を支える救護班

試合中、胸部を負傷した選手に学術部救護班が迅速に対応し、担架で救護所へ搬送した。

救護所では超音波観察装置で患部の状態を確認し、テーピングと包帯による固定を行った。その後も経過を見守り、落ち着きを取り戻したことを確認したのち、選手は救護所を後にした。

柔道では、全力でぶつかり合うからこそ、万が一のけがへの備えも欠かせない。

開会式で田代会長が語った「受け身」の大切さと、大会を支える救護体制。その双方があってこそ、選手たちは安心して畳に立つことができるのだと、あらためて感じた。

最後に、大会運営にあたり、栃木県柔道連盟ならびに作新学院高等学校柔道部の皆さまには、大会全般にわたり多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

広報部 萩原康司

とちのき 400 号発行

会報「とちのき」は平成4年の創刊から34年の月日を経て、今号で発行400号となりました。これまで愛読していただいた会員および関係各位の皆さまには厚く御礼申し上げます。

さて、近年の会員数・患者数の減少等により会費収入が減少し、執行部一同、事業支出の削減に努めているところですが、「とちのき」も経費節減のため、令和7年6月号393号から隔月発行という苦渋の決断をいたしました。しかし、療養費の値上げは叶わず、療養費収入は減少という全国的なうねりには勝てず、ついに紙媒体での発行を断念せざるを得なくなりました。現在は送金通知書と同様、PDFデータでの発行（当会ホームページにも掲載）となっております。

また、月一発行が隔月発行になると、情報発信のタイムラグが大きくなるのが必然となりますので、その分は当会ホームページに掲載することで補完することになりました。



今は「情報化社会」と呼ばれており、さまざまな情報を得て、その情報を有効活用するかしないかで、仕事や生活が大きく変わってしまう世の中です。そして、その多くがデジタル社会の中から

影響を受けるものです。

「とちのき」がデータ配信となり、紙で発行したときよりも閲覧率が下がっているのではないかと懸念しておりますが、情報を有効に活用するという意味において、デジタル「とちのき」も仕事のツールとして役立てていただきたいと思います。

「とちのき」がこれからも会員の皆さまの情報源の一つとなるよう、広報部一同努めてまいります。

広報部長 小森照久

その画像、 どう読むのか



一般社団法人日本超音波骨軟組織学会（JSBM）が主催する「柔整エコー ハンズオンセミナー 2026」が、7月5日に（公社）栃木県宅地建物取引業協会会館にて開催（SSB 協賛・当会後援）された。このセミナーは JSBM が「教育セミナー」として年に数回、都市圏において開催しているようだ。

講師は、JSBM 代表理事・会長の山田直樹先生（瑞穂接骨院院長・愛知県）、超音波実技補助に JSBM 理事・川村大貴先生（接骨鍼灸康復院長・茨城県）。



山田直樹先生

講義は、山田先生の施術所で実際にあった症例をもとに行われ、超音波観察が施術にどれだけ有効なのかを証明してくれた。

症例は、腸骨骨端線離開治癒後の近接部位再負傷時の鑑別、変形性膝関節症での膝蓋上嚢の滑膜増殖（癒着）に対するエコーガイド下の施術効果の経過観察、オスグッドと膝蓋腱炎の鑑別、ACL 再建術後の遷延する疼痛と ROM 制限の原因解明などで、これらを「エコーで見た」だけではなく、見たものをどう評価し、施術方針を立てたのかを解説していることが今回のセミナーの枢要なところだ。



実技指導する川村大貴先生

患者の訴える症状には原因があり、それに対する施術にも根拠がある。それを可視化して示すことができるのが超音波観察だ。山田先生は「エコーの撮り方ではなく読み方、患者の問題点を見抜く力が大切」だと言う。

今回は、超音波観察装置のますますの必要性と柔整施術に不足する「根拠」を示す手段としての有用性が証明された質の高いセミナーであった。

広報部 小野塚和史

第95回学術講演会 第36回支部代表者研究論文発表会

日時 10月25日(日) 9:00 ~ 12:30

会場 帝京大学 宇都宮キャンパス
地域経済学科棟1階大講義室

先着
150名

第1部 支部代表者研究論文発表会 9:10~10:00

帝京大学 野中敢太・小林優斗
荒井愁平(小山) 長野剛憲(塩谷) 岡本博志(那須)

第2部 学術講演会 10:45~12:15

『野球現場における競技復帰とパフォーマンス向上の実践』

講師 株式会社エイジェックススポーツマネジメント
スポーツ振興事業部 チーフトレーナー



松橋 朝也先生(理学療法士 / JATI-ATI)

2016 中部大学理学療法学科卒業

2016~2019 かつしか江戸川病院

スポーツ医学科スポーツリハビリテーション部

2019~ 株式会社エイジェックススポーツマネジメント

地域スポーツ事業振興部 スポーツサイエンスチーム



菅谷 力也先生(理学療法士、JATI-ATI、NASM-PES、NASM-CES)

2017 千葉・柏リハビリテーション学院理学療法学科卒業

2017~2020 とちぎメディカルセンターしもつが

医療技術部リハビリテーションセンター

2020~ 株式会社エイジェックススポーツマネジメント

同時開催 協同組合賛助会員による展示会

お申込み 公益社団法人栃木県柔道整復師会 TEL 028-648-0502
お問い合わせ (9:00~17:00/土日祝祭日休館)

会員接骨院・整骨院のご案内はホームページで
<http://www.sekkotuin.jp/> アクセスはこちら →





第1発表 足関節へのキネシオテーピング貼付前後での 動的バランス能力の変化

帝京大学 野中敢太、小林優斗、劔持佑起、東 文博

外傷予防や身体機能の補助を目的として、テーピングが用いられることがあるが、効果や適切な貼付方法は、十分に明らかになっていない。本研究では、足関節周辺へのテーピング貼付前後におけるバランス能力の変化を測定し、その影響について検討する。



第2発表 柔道整復学科生における運動習慣の調査

帝京大学 小林優斗、野中敢太、劔持佑起、東 文博

近年、身体活動不足に起因する健康問題が世界的な課題である。日本では20代の運動習慣者の割合が全年代で最も低い。大学生は10代から20代への移行期で、運動習慣が変化しやすい。本研究では、大学生の運動習慣を阻害する要因を予備的に検討する。



第3発表 医の起源としての手当て

小山支部 荒井愁平

痛いところに手を置く「手当て」は、医療の原点です。実はこれには、脳に痛みが伝わるのを手がブロックするという科学的な仕組みや、東洋医学の知恵が隠されています。言葉で説明する以上に、患者さんの体に直接触れて寄り添う時間が、深い安心感と信頼関係を生み出します。デジタル化が進む現代だからこそ大切な「人の手による医療」を大切にする柔道整復師の強みを考察します。



第4発表 足関節捻挫の症例について

塩谷支部 長野剛憲

自分の左足関節外側靱帯損傷に対し、受傷直後の徒手整復と約2か月間の綿包帯固定による長期継続管理を施行した。途中、自己判断での固定除去により一時的に不安定性が残存したものの、固定を再徹底して組織修復と関節安定性を獲得した。初期整復の重要性と包帯固定の長期継続の有効性を示す貴重な一例である。



第5発表 偽関節と診断された鎖骨外端部骨折に対して保存療法が成功した一症例

那須支部 岡本博志

鎖骨外端部骨折は骨癒合しづらく、保存療法では偽関節を形成することが多々あり、近年では観血的治療が行われることが主流となってきている。

今回、他の医療機関にて保存療法により4か月間加療を行ったものの骨癒合に至らなかった鎖骨外端部骨折の症例に対して、接骨院にて再度保存療法を試みて良好な結果がみられたのでここに報告する。

保 険 部 だ よ り



令和8年7月30日、厚生労働省から柔道整復施術療養費に係る患者調査について通知が発令され、各保険者に対して実施する際の手法が示されました。概要は以下のとおりですが、詳細は下記のQRコードから確認してください。

1. 患者調査の手法（参考例）

①調査対象の選定

- 多部位（3部位以上） ○長期継続（3ヵ月を超える）
- 頻回傾向（1月あたり10～15回以上が継続する傾向）

②文書照会の実施時期

施術後、適切な時期（長期経過しない）に実施

③調査票

交付された領収書・明細書の提出を求めることにより、患者が有している施術の記録を確認することとし、明細書に含まれない情報が必要な場合に限り調査票による照会を行うよう努めること。



2. 柔整療養費の被保険者等への照会について

①被保険者等への照会の目的

不正の疑いのある施術等について、確認のために実施するものとし、受診の抑制を目的とするような実施方法は厳に慎まれない。

②照会対象の選定

照会が不要と思われる請求（月1回、1部位の施術など）についてまで照会を行っている例が指摘されているため、照会が必要な施術について照会することとされたい。

③照会の手法

- 申請書と被保険者等からの回答が一致しない場合には、不正が明らかであるなどの必要がない場合を除き、施術所に照会を行い、疑義を解消するようにされたい。
- 被保険者から領収書や明細書の提出がないことのみをもって不支給決定をすることは適切ではない。

④照会の事務や作業の委託

- 保険者が有する機能については民間業者へ外部委託できないものであるが、民間業者へ調査を一任し、保険者が有する機能の一部を外部委託している例がみられ

る。返戻、照会の要否、審査、支給または不支給の決定などは外部委託することが適当ではないので留意されたい。

- 施術者団体（日整以外の団体）や契約柔整師が加入している請求代行を行っている会社の子会社等に委託することは、自らの関係施術所について異なる取扱いをする等の疑義が生じるため適当ではない。
- また、委託費が「不支給となった請求額」、「照会や返戻の実施件数」に比例して高くなるなど、過度なインセンティブを含む委託費となっており、結果として不適切な照会につながっている例があるとの指摘があるので、そのようなことがないようにされたい。



患者照会について、厚生労働省もやっと重い腰を上げてくれたようです。患者照会の件でこの通知に違反する不適切な照会内容があった場合には必ず当会事務局または保険部長にご連絡ください。

江原副会長が日整帰一賞受賞

6月28日、日本柔整会館において、当会江原義明副会長が「帰一功労賞」を受賞されました。当会としては、令和4年の田代会長に続き4年ぶりの受賞になります。

江原副会長は平成5年の事業部員を皮切りに、足利支部長、協同組合理事を歴任、平成21年からは当会理事、27年からは当会副会長・関東ブロック会理事、29年から令和7年までは協同組合理事長を務められました。現在は栃木県柔道整復療養費審査委員も務めておられます。



これまでの柔整業界へのご尽力に感謝いたしますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。おめでとうございます。

My Box 支部リレー投稿

第268走者 那須支部 大森 卓

自家製チャーシュー



私の趣味は、週末に時間をかけて自家製チャーシューを作ることです。きっかけは、数年前に2時間並んで食べた二郎系ラーメンのチャーシュー。ぶ厚いチャーシューが口の中ですりける柔らかさに感銘を受け、それから自家製チャーシューに凝り始め、一つの趣味になりました。

最初はインターネットのレシピを参考にしながらでしたが、今では肉の部位、香味野菜、茹で時間、味付けを、理想のチャーシューになるよう目指して試行錯誤しています。

豚バラ肉を表面に香ばしく焼き目がつくまで焼き、生姜、にんにく、ネギの青い部分と共に弱火でゆっくり2時間ほど茹で、醤油・酒・みりん・旨味調味料をひと煮立ちさせて作ったタレに漬け込み、一晩寝かせて完成です。この時、ゆで卵も同じタレに漬け込み、おまけに煮卵も作ってしまいます。

インスタントの袋麺にチャーシュー・煮卵・メンマ・ネギ・ワカメやほうれん草を盛り付け、余ったチャーシューをたっぷり入れたチャーハンを作れば、ラーメンはインスタントとは侮れない出来で、チャーハンも具たくさんで食べ応えがあり、家中華のランチセットとしてとてもおいしく作れるようになったと自負しています。



ラーメンはインスタントとは侮れない出来で、チャーハンも具たくさんで食べ応えがあり、家中華のランチセットとしてとてもおいしく作れるようになったと自負しています。

自負しています。

そのほかにも、バーナーで炙っておつまみにしたり、炊きたてのご飯にきざみ海苔をふりかけ、チャーシューと万能ねぎを載せ、マヨネーズと黒こしょうをかけ、最後にバーナーで炙ったチャーシューマヨネーズ丼もおいしいです。

チャーシュー作りの応用で、牛すじカレーなども作るようになりました。お正月やお盆に家族、親戚が集まるときなどに振る舞い、好評です。

趣味は他にも、漫画・小説・アニメ・ゲーム・プラモデル・推し活などもしていますが、その分お金もかかります。料理の趣味は自分だけではなく家族もお腹を満たせるし、食費として余計な出費がかからないのでいい趣味だと感じています。

次回は栃木・足利支部にバトンタッチです。

第269走者 宇都宮支部 室田裕之

推しドラマと行く出雲旅



皆さんは、推し活をしたことはありますか？

私は、若い人たちがはまるものだと思っていました。

ここ数年、NHK 朝ドラを観ていますが、小泉八雲とその妻セツをモデルにした物語「ばけばけ」にはとても興味が湧き、とうとう推し活に。その足跡を辿るべく島根旅行に向かいました。私ども夫婦はアナログ優先のシニアですから、念入りに行程を整えてまずは出雲へ。

稲佐の浜で神事の由来に触れ、出雲大社では荘厳さに魅了されました。私は、大社内にいる石造りのウサギたちがとても気に入りました。

次は松江・八重垣神社へ。公共交通機関を利用した旅だったので、タイムスケジュールに押されながらも1日目を無事にクリア。夕食はおいしい郷土料理を堪能。2日目は、いよいよドラマの舞台・松江観光です。早朝から市内巡回バスに乗り名所旧跡を巡りました。国宝松江城を散策したあと、松江歴史館併設の茶屋では、主人公も食したという茶菓手に感動の舌鼓。

塩見縄手から小泉八雲記念館と旧居を見学。八雲とセツの歩んだ道を改めて垣間見ることができました。城山稲荷神社では、ドラマの中の景色をまねて写真撮影ができて満足。

そして、一番行きたかった月照寺の大亀を拝観。実物の雄大さに感動しました。物語の機微を感じながら散策することもできました。松江市役所の落成記念で、ばけばけの舞台セットの展示も見ることができました。あいにくの小雨で、宍道湖の夕陽は見ることができませんでしたが、とても有意義な一日を過ごせました。残念ながら最終日は、栃木という辺境に戻るための移動日。ただ、田舎者は羽田空港でさえワクワクします。人混みにもまれながら二泊三日の推し活旅は終わりました。



帰宅してから、改めて小泉八雲の書籍にも目を通しましたが、確かな文才と、妻セツの存在の大きさに思いを馳せました。

誰かを、もしくは何かを好きになり、推しを貫くこともいいもんだなぁと思いました。

ものふくらム

元祖ストリートミュージシャン

20～30代の方はご存じないかもしれないが、僕が子供のころは「チンドン屋」という職業があって、自宅の前を練り歩く姿を見た記憶がある。(正月の獅子舞と同様、近頃はまったく見かけなくなった)

Wikipediaによると、「チンドン太鼓と呼ばれる楽器を『チンチン・ドンドン・チンドン』と鳴らすなどして人目を集め、その地域の商品や店舗などの宣伝を行う日本の請負広告業の一種」とある。

日本の「元祖ストリートミュージシャン」というところか。



主にチンドン太鼓・大太鼓・サックスまたはクラリネットの3人編成だが、幟持ち・ティッシュ配り加わる場合もある。メイン楽器、チンドン太鼓の上部には和傘が取り付けられている。

メンバーは大衆演劇役者のように和装で白塗りやピエロのように奇抜な格好をして、広告ポスターを背負っている。隊列を組んで演奏しながら笑顔を振りまき広告活動をするのだから誰もが足を止めてしまう。

富山市では、毎年4月上旬の週末に全日本チンドンコンクールが行われている。日本中からプロはもちろん、アマチュアのチンドンマンたちも参加して技を競う。(2021年は新型コロナウイルスのため中止、動画配信のみ)

金曜日の前夜祭ではオープニングパレード、土曜日は予選と素人コンクール、最終日にはプロの本戦のあと、プロ・素人のチンドンマンがにぎやかに練り歩く大パレードが行われる。

2019年のコンクールでは素人部門で栃木県の「那須高原ちんどん組合」が優秀賞を受賞している。(サックス担当は当院の患者さんだったりする)

チンドン屋の注目度は抜群なので、院がヒマな時は「チンドン屋、頼もうかなあ～」といつも思う。

不識院後光守

日整匠の技伝承プロジェクト

経験不足は「匠」におまかせあれ

7月19日、当会館において第2回匠の技伝承プロジェクト技術講習会が行われ、日整水準の基本技術を学ぼうと24人が参加した。

講習内容は、肩甲上腕関節脱臼の整復固定技術実習ならびに肩関節の超音波観察実習。

講師は、脱臼実習を館佳孝学術副部長、超音波観察実習を岡本博志同副部長、実技補助を鈴木勝仁同部員と高橋秀典鹿沼支部長が務めた。4人とも「匠の技伝承プロジェクト」の当県指導者である。

超音波観察実習の目的は、いまだに導入率の少ない超音波観察装置を実際に操作してみることで関心を持ってもらい、導入の裾野を広げようというもの。

この日も超音波観察に興味のある会員や、これから導入を考えている会員、また基礎的な技術を学びたい会員が受講した。操作を試みる時間にも余裕があり、匠の4人がほぼマンツーマンで指導に当たるので、実習としては充実したものであった。

整復固定技術実習は、主に経験の少ない若い世代の会員の基本技術習得を目的に行われている。今回は前方脱臼を想定。整復法はヒポクラテス踵骨法とドナビュー吊り下げ法を、固定法は厚紙副子、枕子を使用した麦穂帯固定を実習した。



昨今では、接・整骨院への骨折・脱臼の来院数は減少傾向にあり、若い世代の柔整師は、免許取得後の研修先でも経験できる機会が少ないのが現状だ。

ただ、たとえ経験は浅くとも、整復処置の方法を知っているか知らないかの差は大きい。経験不足は知識で補おう。この匠の技講習会ではそれができる。

医師以外に骨折・脱臼の整復処置を認められているのは柔整師だけだ。この唯一の存在の存続のためにも積極的に参加してほしい。

広報部 小野塚和史

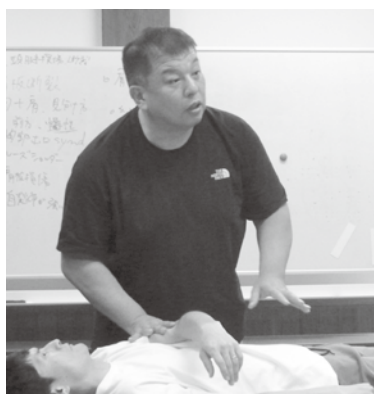
支 部 だ よ り

宇都宮支部

隣の先生何する人ぞ

6月25日、当会館において「地域における保健福祉の向上に資する研修」として、令和8年度第1回宇都宮支部勉強会が開催された。参加者は他支部からの7人を含めた24人。

今回のテーマは「肩関節疾患に対するのスキルアップ」。大橋一也会員（宇支部監事）をメインの講師として行われたが、これまでの勉強会同様に参加者からの施術方法の紹介もあった。



今回は、講習が始まる前に参加者に「何を知りたいか」を問いかけたが、やはり腱板損傷、肩関節周囲炎についての声が多く聞かれた。

肩関節の傷病については、すぐには良い結果が得られないことも多い傷病の一つと感じているが、今回紹介された施術方法は、腱板などに器質的損傷がないもの、もしくは少ないものであれば、その機能的な障害を改善させるには十分なものと思われた。

「百聞は一見に如かず。隣は何をする人ぞ」仲間の先生たちの色々な考え方や取り組みに触れてみてはいかがか。日々の施術のささやかなヒントにはなると思う。



通信員 小野塚和史

鹿沼支部

実症例に活発な意見交換

7月25日に支部研修会が鹿沼市民情報センターにて行われた。

高橋秀典支部長を講師に、「肩・指」をテーマにした症例紹介と超音波観察の実技が行われた。

時間の都合上、今回は腱板損傷とマレットフィンガーに絞られたが、肩の触診、徒手検査などの診察法を丁寧に解説。さらに、超音波観察でのプローブの操作法と画像の見方



を実演しながら解説した。ただし、高橋支部長は「やはり問診・視診・触診・徒手検査での判断が大切」と話し、超音波観察は判断の妥当性を証明する安心材料だとする考えを述べた。

マレットフィンガーにおいては、参加者の中に都合よく受傷している会員がおり、症例モデルとなってもらった。現在4か月を経過しているが、受傷からの経過と現症状、処置を確認したうえで、超音波により患部の状態を観察した。



経過期間や超音波観察での腱の修復度合いなどを考慮し、固定期間の再考など、会員同士で活発な意見交換が行われ、夜間だけでも固定の継続が必要だろうとの判断に至った。

この判断が結果に反映されるかはあくまでご本人次第だが…数か月後、完全治癒していることを願いたい。

なお、今回は10人ほどの参加でしたが次回はいくつもの参加を望みます。

互いに高め合いましょう。

通信員 藤田好美

2026 (令和8年)

行事予定

※とちのきクリニック
の受付は 9:30~
11:30です

9月

- 6日(日) 9:30 第16回帝京豊郷台シンポジウム [帝京大学 宇都宮キャンパス]
8日(火) 療養費支給申請書必着日
12日(土) 10:00 組合祭りinとちぎ2026 [ライトキューブ宇都宮]
13日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・高野・鈴木勝・大木
15日(火) 20:00 とちのき編集会議 小森・木下・丸山
16日(水) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
17日(木) 20:00 理事会 [Web]
24日(木) 14:00 労災審査 [当会館]
25日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
29日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・植木

10月

- 3日(土) 18:00 協同組合講演会 [当会館]
8日(木) 療養費支給申請書必着日
13日(火) 20:00 とちのき編集会議 小森・萩原・加藤
15日(木) 20:00 理事会 [Web]
16日(金) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
18日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・高野・疋田拓・小林
20日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
20:00 とちのき校正会議 小森・三上・手塚
23日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
25日(日) 9:00 第36回支部代表者研究論文発表会 [帝京大学]
10:45 第95回学術講演会 [帝京大学]
27日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・丸山

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

川 柳

塩谷支部 船橋 仁和

永遠の敵は雑草あなたです
本心は指切りできた人に言う
幕引きのチャンスへ未練邪魔をする
コツコツと進む体力あればいい
諦めがついて気づいた腹の減り
毎日が昨日のレベルならいいな

information

お知らせ

会員数

令和8年8月1日現在

会員数 **340名**
研修柔道整復師 **9名**
施術所数 **323院**



会員の異動状況報告

(研)…研修柔道整復師

- ・芳柔整17 松下 裕昭 松下整骨院
〒321-4364 真岡市長田5-26-3
☎0285-82-1198 令和8年6月30日 退会
- ・宇柔整198 村上 直亮 あおぞら整骨院
〒329-1104 宇都宮市下岡本町4533-30
☎028-673-0522 令和8年7月31日 退会

訃報

宇都宮支部 面川 健二 会員(50歳)がご逝去されました。

宇都宮支部 生井 諭 会員のご尊父様(敏朗様 79歳)がご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様にはご会葬を賜り誠にありがとうございました。

宇都宮支部 生井 諭

編集後記

先日の台風13号が沖縄を直撃したまさにその時に、末娘がお友達5人と沖縄旅行中でした。2泊3日の旅程が5泊6日と倍の日程になってしまいましたが、親の心配をよそに「とっても楽しい旅行だった!」そうです…。



自分に置き換えて、それだけ仕事に穴をあけることを考えたら、とても涼しくなりました。

よっしー